

## 第3回 新みやしろ郷土かるた制作委員会 議事録

日時	平成28年7月12日(火) 18時~20時20分
会場	宮代町役場 204会議室
出席	委員：田中委員長、関根副委員長、岡本、鈴木、青木、青柳、栗本、浅倉、松本、石川 事務局：佐藤室長、田中、小林 (敬称略・順不同)
欠席	なし
傍聴	なし

### 1 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 審議
  - ① 新かるたの普及活用方策について
  - ② 新かるたの競技ルールについて
  - ③ 読み句の応募状況について
  - ④ 読み句の選定方法・スケジュールについて
  - ⑤ 名称、箱のデザイン等の検討方法について
- (4) その他
- (5) 閉会



### 2 議事

#### (3) 審議

#### ① 新かるたの普及活用方策について

●各委員から事前に検討したアイデアを発表

#### アイデア(要約・重複割愛)

- A委員
- 学校で、休み時間や親子活動、クラブ活動などを活用し、取り組んでもらう
  - 学校単位で予選を行い、代表者同士で対戦する町大会を開催
  - 町民体育祭での活用(大判かるたをつくり競技として実施する)
  - 町民まつり かるたコーナーの設置
- B委員
- のぼり旗を制作し学校に設置、雰囲気づくりのため目立たせる
  - 複数日程でのかるた大会の実施(規模の拡大)
  - 英語(英訳)版のかるた制作
  - 高齢者に配慮したかるたの制作(大判かるたなど)
- C委員
- 各小学校にかるたクラブを編成する
  - 大会の実施回数を増やし(各学期に1回ずつなど)、ランキングをつけ、町民まつりなどで表彰する
- D委員
- かるたの歴史や内容の解説をまとめた資料を学校に毎年配布
  - 審判を公募し養成講座を実施する
  - かるたの展示会の実施
  - 家族や大人向けのかるた大会の実施
  - 応募ガイドを再編集し宮代事典を制作する

- E委員 ■小学校対抗のかるた大会  
 ■大会協力スタッフの公募と養成講座の実施  
 ■地域敬老会でのかるた大会の実施  
 ■広報みやしろにかるた紹介コーナーを設け、毎月掲載する  
 ■題材例解説書を町内各戸に配布する
- F委員 ■大会の参加賞を豪華にする  
 ■選手の養成塾、学習塾を開催する  
 ■練習場所の提供  
 ■かるたの題材ツアー（ウォーキングなど）  
 ■絵札コンテストの実施（毎年、入賞作品を絵札に採用し、更新する）  
 ■宮代郷土の日を制定し、その日にかるたの説明を実施する  
 ■宮代かるた愛好会を設立する  
 ■役場業務での活用（郷土課の設置、封筒・公用車・作業服への絵札掲載、ホームページにかるたコーナーを設置、職員の名刺にかるた絵札を掲載、ポスターを公共施設に掲示）  
 ■オリジナルグッズの制作と活用（かるたスタッフ用Tシャツ、絵札クッキー、マグカップなど食器、絵札シール、自動車用ステッカー、ストラップ、鉛筆、ボールペン、焼印）  
 ■みやしろイルミネーションでのPR（かるた絵札のイルミネーション制作）  
 ■オリジナルコースターを制作し、飲食店等で使用してもらう  
 ■飲食店で、かるたにちなんだ新メニューやカクテルなどを開発、提供  
 ■かるた絵札が描かれた神輿を制作、夏まつりで活用  
 ■携帯用のダウンロード待ち受け画面をつくり、公開  
 ■かるたCM、10倍楽しむガイドブックの制作
- G委員 ■公共施設など町なかに、かるたの解説看板を設置する
- H委員 ■小学校チャンピオン大会の実施  
 ■近隣市町との交流大会の実施  
 ■他行事と抱き合わせでのイベント（大会等）の実施  
 ■学校へのPRなど普及啓発活動  
 ■真のかるた王決定戦（年齢制限なしのかるた大会）の実施  
 ■百人一首チャンピオンなど、名人との対戦、交流  
 ■特別支援学校や老人ホームでの交流活動  
 ■かるた映画の上映会  
 ■町内書店でのかるた販売

### 決定事項

- 今回発表されたアイデアをふまえて、新かるたの活用方策について引き続き検討を行う  
 →次回以降（読み句の選定後）、引き続き検討を行うこととした。

### 主な意見・質疑応答等

- 委員 のぼり旗のアイデアは、具体的にどんなものをイメージしているか。
- 委員 かるたのマスコットキャラクターなどをつくり、それをモチーフにしたデザインののぼり旗をつくり、学校などに設置、かるたのアピールをする。
- 事務局 体育祭の競技のアイデアは、具体的にはどんなイメージか。

- 委員 地区対抗競技。グラウンド全体を使っかるたをやるイメージ。
- 事務局 宮代事典のイメージはどんなものか。他に事例があるのか。
- 委員 草加市、白岡市、旧岩槻市などに類似事例がある。
- 委員 かるた神輿のアイデアは、地区のまつりに「行燈みこし」があるので、実現できるかもしれない。確認してみる。
- 委員 かるたのガイドツアーは、みやしろガイドクラブの事業として実施できると思う。また、かるた看板は、既存の文化財看板にも、初代かるたの掲載があるが、もっとかるたを主張したデザインにしても良いと思う。
- 委員 初代かるたが今のように盛り上がってきた背景として、各校にかるたを配布し、学校で取り組んだという経緯が寄与している部分があると思う。
- 事務局 今日いただいた意見を踏まえて、さらにアイデアを広げたり、深めたりしていきたい。選定が終了したら、この議論を再開し、アイデアを具体化したい。

## ② 新かるたの競技ルールについて

- 資料に沿って事務局から説明

### 決定事項

#### ■新かるたの競技ルールは、事務局案のとおり決定する

- 役札ありは決定、役札の種類は1種類または2種類とし、読み句の選定結果を踏まえて、最終決定する。
- 役札の点数、運用ルールなどは改めて検討する。

### 主な意見等

- 委員 競技ルールは、できるだけシンプルなものが良い。誰にでも遊べるものとしてもらうためには、ハードルはできるだけ下げた方が良い。

## ③ 読み句の応募状況について

- 資料に沿って事務局から説明、進ちょく状況を全体で共有した。(現状報告のみ、決定事項なし)

## ④ 読み句の選定方法・スケジュールについて

- 資料に沿って事務局から説明

### 決定事項

#### ■基本的に事務局案により選定作業を進める

- 選定にあたっては、作者の所属（町内小中学生、一般）についての配慮、バランス調整等を行わない。
- 選定作業の中で、題材の偏り等が生じることが予想されるが、これについては、制作委員会による2次選定の中で協議・検討し、最終決定する。

### 主な意見等

- 委員 小中学生の作品と、一般公募の作品で、選定される割合を予め決めておいた方が良いのでは。小中学生の作品が極端に少ない状況は、芳しくない。
- 委員 題材は、きちんと吟味した方が良いのでは。宮代町として、載せるべき題材があるだろう。事務局の考えはあるのか。
- 事務局 町として、重要度が高いと考えている題材は確かにある。しかし、募集を開始する時点で、その点について言及していない。現時点で事後的に題材の優先度を設定することは、適切ではないと考えている。
- 委員 読み句で宮代の関連性がはっきりしない場合でも、絵札で補うことは可能だと思う。
- 委員 一次選定は、音ベースで選定、二次選定は題材ベースで選定という進め方が良いのでは。音だけで選定を進めてしまうと、欲しい題材が残らない可能性がある。
- 事務局 その点については、一次選定の段階で、可能な範囲で配慮したい。作品の出来栄をベースに採点されたもののうち、高得点の作品を基本に、題材にも配慮した絞り込みを行う。一次選定過程の「⑤」の部分。
- 委員 小中学生の作品の中にも、親も一緒に考えているものもある。そのことを考えると、大人の商品、子どもの商品を厳密に分けることはできないのでは。
- 委員 募集スタートの時点で設定していないので、小中学生と一般の商品割合を設定することは難しいのでは。

## ⑤ 名称、箱のデザイン等の検討方法について

- 資料に沿って事務局から説明

### 決定事項

#### ■事務局案により名称決定、箱・題字の制作をそれぞれ進める

→新かるたの正式名称は8月中に決定する。

→箱デザインは以下を基本とし、12月までに制作する。

- 役札の絵札を配置

- 題字は小中学生の毛筆展最優秀者が制作したものをコンピュータ処理し使用する

### 主な意見等

特になし

## (4) その他

特になし